

# 埋設物探査機 スキャン画面表示例

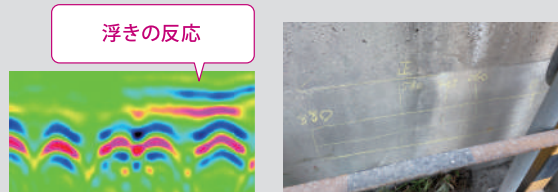
## ADSPIRE01

### 橋梁での使用実例

#### 使用実例 I

##### コンクリート浮きの検出

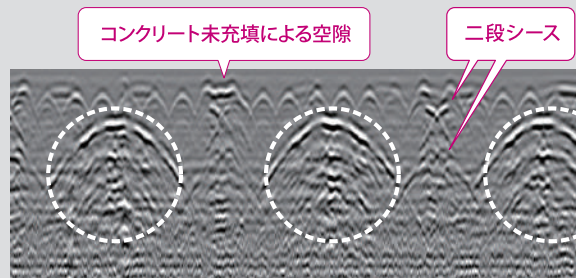
鉄道設備のとある場所にてコンクリート内部の浮きの調査。  
打音点検と比べ、精度良く浮きの箇所が検出できた。



#### 使用実例 II

##### コンクリート床版・空隙・シース管の検出

中空床版未充填の探査例。  
コンクリート未充填による空隙、  
二段シースも明確に検出できた。

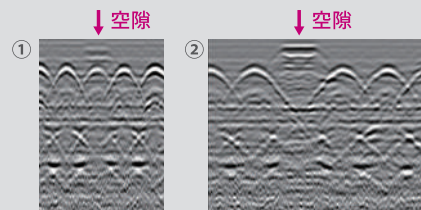


### トンネルでの使用実例

#### 使用実例 I

##### トンネル覆工・空洞検出

①の空洞幅が3mmでも判断できるが、  
②の30mm程度幅があった場合の方がより明確に表示されている。

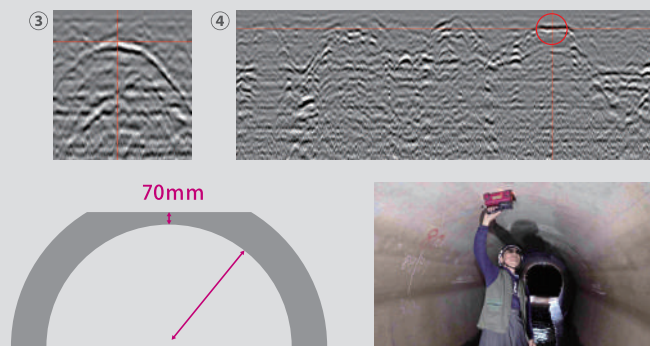


#### 使用実例 II

##### 水路・空洞検出

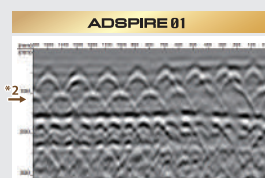
高所、狭所、水路など足場の悪い環境下において、  
小型軽量であるADSPIRE 01のメリットを最大限に  
活かすことができる。

水路内側を横断した波形なので断面を類推すると、  
右図のような形状だと思われる。



#### 千鳥配筋と埋設管

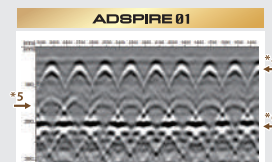
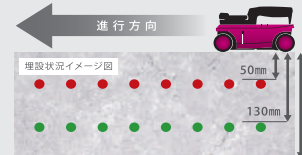
上端筋かぶり厚：50mm ● 200mm  
下端筋かぶり厚：100mm ● 200mm  
躯体厚：150mm



- \*1 鉄筋の横にある配管
  - \*2 千鳥配筋の下端筋
  - \*3 躯体厚の反射
- 明確に判断できる。

#### ダブル配筋

上端筋かぶり厚：50mm ● 200mm  
下端筋かぶり厚：130mm ● 200mm  
躯体厚：200mm

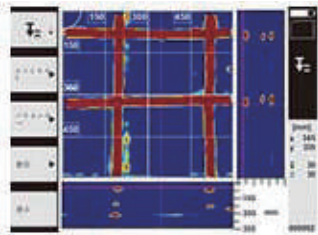


- \*4 余計なノイズが除去され、リングングが少ない。
- \*5 ダブル配筋の下端筋も明確に判断できる。
- \*4.5.6 初期設定のままでもある程度正確なかぶりが表示される。  
また躯体厚から補正することも可能。

# 埋設物探査機 スキャン画面表示例

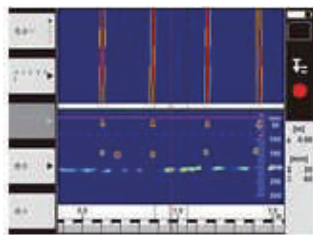
## X-Scan PS1000

### ■ イメージスキャン



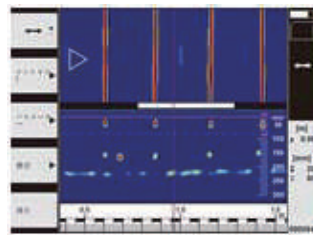
- ・建築物の構造確認
- ・コア抜き時の安全位置特定に

### ■ クイックスキャン探査



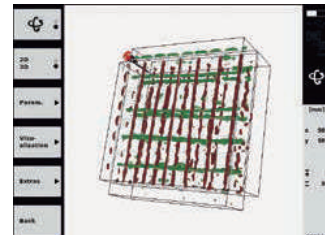
- ・穿孔前の埋設物位置
- ・かぶり厚さ確認に

### ■ クイックスキャン記録



- ・穿孔前の埋設物位置
- ・かぶり厚さ確認に

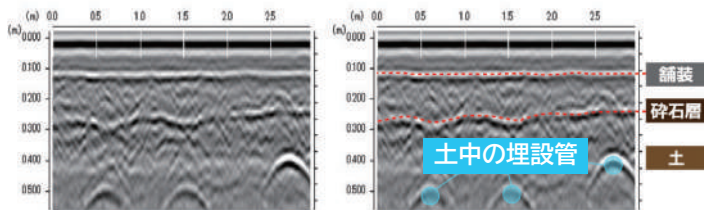
### ■ 3D 表示



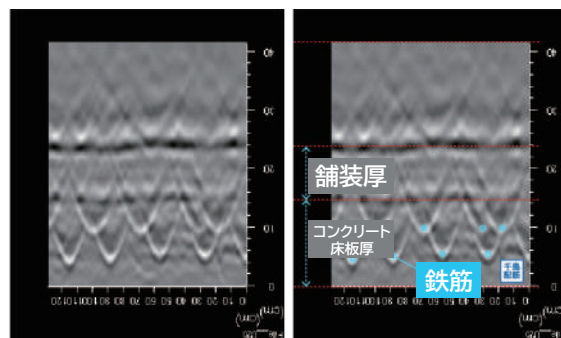
3次元回転可能な3D表示で、複数層の埋設物や奥行きを確認。(モニターとパソコン上で表示)

## ストラクチャスキャン SIR-EZ シリーズ

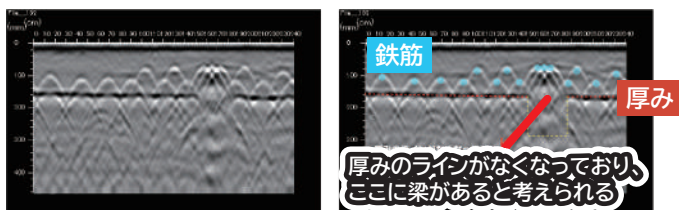
### ■ アスファルト舗装厚、埋設管探査



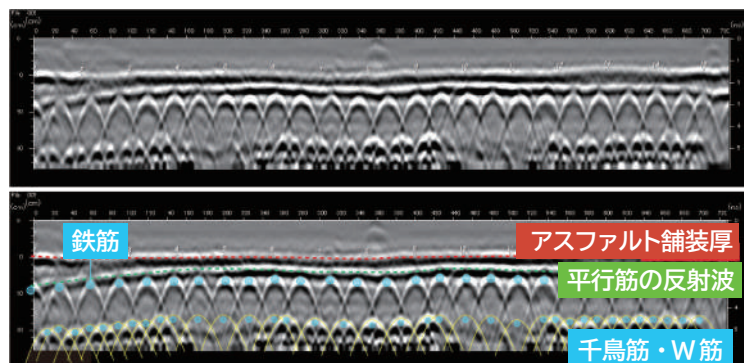
### ■ 高速道路（橋梁）の裏面から鉄筋・アスファルト厚を探査



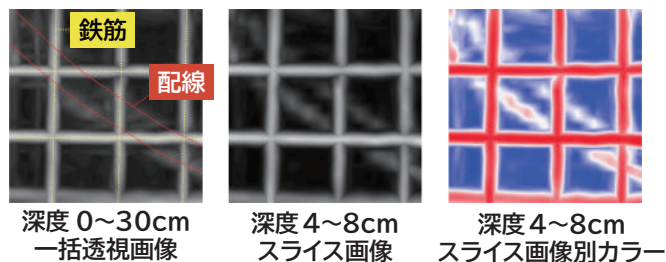
### ■ コンクリート梁



### ■ 橋梁 - アスファルト舗装厚 千鳥筋・W筋探査



### ■ 埋設配線・配管探査 3D 測定



※メーカーサイトにも多数事例がございます。ご参照ください。